

「包む」に挑む
「包む」を創る

第62期中間株主通信

2023年1月1日～2023年6月30日

ダイナパック株式会社

証券コード：3947

ごあいさつ

目指すは“永遠企業” 果たすべき役割は“世の為、人の為”

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ダイナパック株式会社は、2005年大日本紙業株式会社と日本ハイパック株式会社が合併して誕生しました。

互いの強みを学び、磨き上げ、One Companyとして融合することにより包装業界にあって存在感のある会社として成長してまいりました。

IT、AIの進化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に社会や人々の行動は大きく変化しつつあります。また、サステナブルな社会を実現するために企業が負う責任は益々重くなっています。

このような状況下にあって、ダイナパックは、事業活動を通じて“世の為、人の為”になることを果たすべき役割として認識し、社会や顧客から支持され続ける“永遠企業”を目指します。



今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ここに当社第62期中間（2023年1月1日から2023年6月30日まで）株主通信をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2023年8月

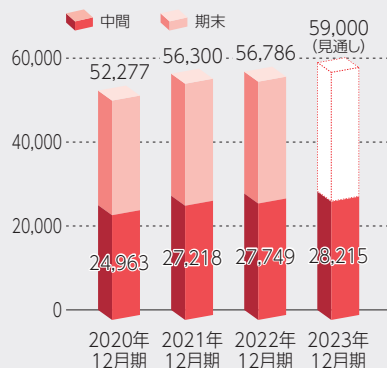
代表取締役社長 齊藤 光次

業績ハイライト

● 売上高

282億15百万円

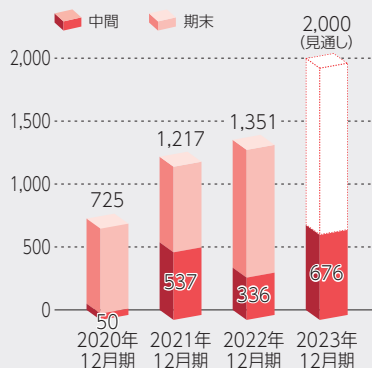
(単位：百万円)



● 営業利益

6億76百万円

(単位：百万円)

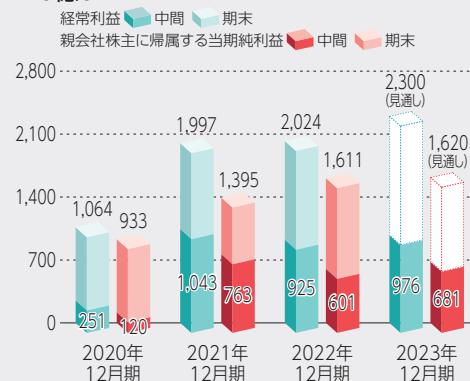


● 経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益

9億76百万円

6億81百万円

(単位：百万円)





経営環境について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による活動制約の緩和が進み訪日外国人観光客が増加し、サービス業を中心とした個人消費が緩やかに回復して改善の基調となりました。一方、ロシア・ウクライナ情勢、中国の景気後退懸念は景気の下振れリスクとなっております。引き続き原材料やエネルギー価格の高騰および人手不足など、取り巻く環境は先行きの不透明な状況にあります。

段ボールの国内生産動向は、1-6月累計数量（速報値）では前年比97.2%となりました。食料品分野は安定した需要を維持し、青果物分野は前年を上回る状況であったものの、輸出関連が中心の電気・機械器具分野にて需要が大きく減少しました。

当期の取り組み

このような環境下、当社グループの国内販売は価格改定に取り組んだ結果、増収となりました。数量は、段ボールケースで最大の需要分野である食料品分野において前年からやや減少したものの、

青果物および通販の分野で増加しました。全体としては採算性を重視した顧客ポートフォリオの見直しなどの影響が残ったものの、業界とほぼ同様の前年比97.4%となりました。

収益面においては、主原材料価格の値上がりに対応し、製品価格の改定と生産性改善活動を進め、増益となりました。

海外事業は、輸出関連企業の影響を受け減収となりましたが、製品価格の改定と生産性改善活動の推進により増益となりました。

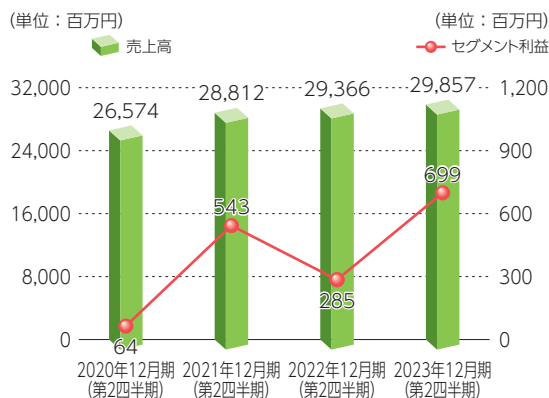
このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は282億15百万円（前年同期比101.7%）、営業利益6億76百万円（前年同期比200.9%）、経常利益9億76百万円（前年同期比105.5%）および親会社株主に帰属する四半期純利益6億81百万円（前年同期比113.3%）となりました。

包装材関連事業

事業内容

段ボールシート、段ボールケース、印刷紙器、美粧段ボールケース、オフセット印刷物、プラスチックフィルム等の製造販売、機械設備等の販売

当セグメントにおきましては、売上高は298億57百万円（前年同期比101.7%）、セグメント利益（営業利益）は6億99百万円（前年同期比245.1%）となりました。



不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は1億79百万円（前年同期比99.9%）、セグメント利益（営業利益）は1億49百万円（前年同期比102.6%）となりました。



第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 2022年12月31日現在	当第2四半期末 2023年6月30日現在
資産の部		
流動資産	25,341	26,478
固定資産	42,707	44,449
有形固定資産	21,810	22,452
無形固定資産	648	594
投資その他の資産	20,248	21,402
① 資産合計	68,049	70,928
負債の部		
流動負債	20,291	21,063
固定負債	7,101	7,765
② 負債合計	27,392	28,828
純資産の部		
株主資本	31,516	31,718
その他の包括利益累計額	9,061	10,294
新株予約権	8	8
非支配株主持分	71	77
③ 純資産合計	40,657	42,099
負債純資産合計	68,049	70,928

第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2022年1月1日から 2022年6月30日まで	当第2四半期 2023年1月1日から 2023年6月30日まで
売上高	27,749	28,215
売上原価	23,232	23,282
売上総利益	4,516	4,933
販売費及び一般管理費	4,179	4,256
営業利益	336	676
経常利益	925	976
親会社株主に帰属する四半期純利益	601	681

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

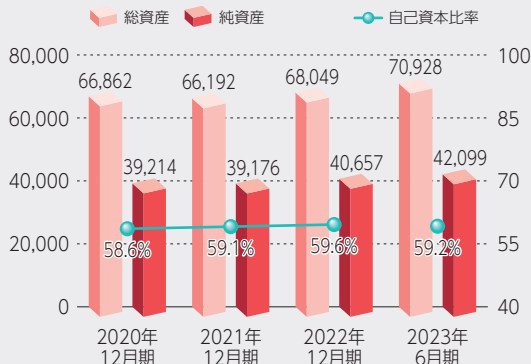
(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2022年1月1日から 2022年6月30日まで	当第2四半期 2023年1月1日から 2023年6月30日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,693	3,472
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 641	△ 1,041
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	92	△ 690
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△ 10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,161	1,730
現金及び現金同等物の期首残高	3,263	4,478
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,425	6,209

総資産／純資産／自己資本比率

(単位：百万円)

(単位：％)



Point

- ① 当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ28億7200万円増加し709億2800万円となりました。これは、主に前連結会計年度末に比べ保有株式の株価上昇にともなう投資有価証券残高の増加および有形固定資産の取得による増加などによるものであります。
- ② 当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ14億3600万円増加し288億2800万円となりました。これは、主に投資有価証券の含み益の増加にともなう繰延税金負債の増加などによるものであります。
- ③ 当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ14億4200万円増加し420億9900万円となりました。これは、主に保有している投資有価証券の株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加および急激な円安傾向にともなう為替換算調整額の増加などによるものであります。
- ④ 営業活動により得られた資金は34億7200万円（前年同期は16億9300万円）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益を9億7500万円計上したことおよび減価償却費を9億1100万円計上したことなどによるものであります。
- ⑤ 投資活動により使用された資金は10億4100万円（前年同期は6億4100万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出10億1500万円などによるものであります。
- ⑥ 財務活動により使用された資金は6億9000万円（前年同期は9200万円の収入）となりました。この主な要因は、配当金の支払4億9600万円などによるものであります。

会社情報



会社概要 (2023年6月30日現在)

商 号	ダイナパック株式会社
本 社	〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目14番15号
資 本 金	40億円
従 業 員	2,099名 (連結) 656名 (単体)
設 立	1962年 (昭和37年) 8月
事 業 内 容	段ボールシート、段ボールケース、印刷紙器、美粧段ボールケース、オフセット印刷物、プラスチックフィルム等の製造販売、機械設備等の販売、不動産の賃貸

役員 (2023年6月30日現在)

取 締 役 長	杉 山 喜久雄	取 締 役	富 澤 豊
代 表 取 締 役 長	齊 藤 光 次	取 締 役 常 勤 監 査 等 委 員	後 藤 禎 夫
代 表 取 締 役 専 務 執 行 役 員	野 澤 政 司	取 締 役 監 査 等 委 員	児 玉 弘 仁
取 締 役 専 務 執 行 役 員	篠 岡 尚 久	取 締 役 監 査 等 委 員	松 若 恵 理 子
取 締 役	深 井 靖 博		

- (注) 1. 取締役の深井靖博氏および富澤豊氏は、社外取締役であります。
2. 取締役監査等委員の児玉弘仁氏および松若恵理子氏は、社外取締役監査等委員であります。
3. 当社は、取締役の深井靖博氏、富澤豊氏および取締役監査等委員の松若恵理子氏を東京・名古屋両証券取引所の定めに基づく独立役員として指定しております。
4. 取締役監査等委員の松若恵理子氏の戸籍上の氏名は、松本恵理子であります。

ネットワーク



知多出張所
神原段ボール(株)



旭段ボール(株)厚木工場
松本事業所



ダイナパック(株)本社

多治見ダイナパック(株)
土岐ダイナパック(株)中津川工場



福島事業所
宇都宮ダイナパック(株)
旭段ボール(株)岩槻工場
クラウン紙工業(株)
東京営業所



静岡事業所

(株)小倉紙器

宮城ダイナパック(株)古川工場

宮城ダイナパック(株)登米工場



つくば事業所

旭段ボール(株)本社
城西パック(株)



土岐ダイナパック(株)

国内・海外に広がる、ダイナパック・グループ

国内事業所 7
国内グループ会社 11
海外グループ会社 6

株式情報



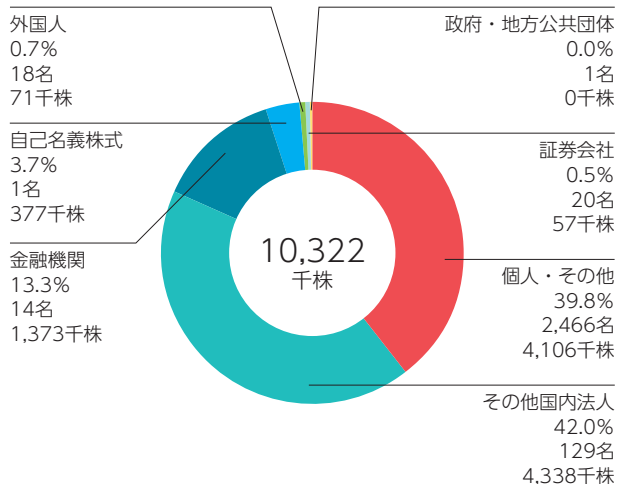
発行済株式総数 9,944,742株(自己株式377,849株を除く。)
株 主 数 2,649名
単 元 株 式 数 100株
大 株 主 の 状 況

(2023年6月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
カゴメ株式会社	1,703千株	17.1%
ダイナパック取引先持株会	1,027	10.3
株式会社三菱UFJ銀行	313	3.1
伊藤忠紙パルプ株式会社	289	2.9
丸紅フォレストリンクス株式会社	277	2.7
レンゴー株式会社	275	2.7
王子マテリア株式会社	272	2.7
大王製紙株式会社	241	2.4
第一生命保険株式会社	220	2.2
ダイナパック社員持株会	212	2.1

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除し算出しております。
2. 当社は自己株式377千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

所有者別株式分布状況



ホームページのご案内

当社の

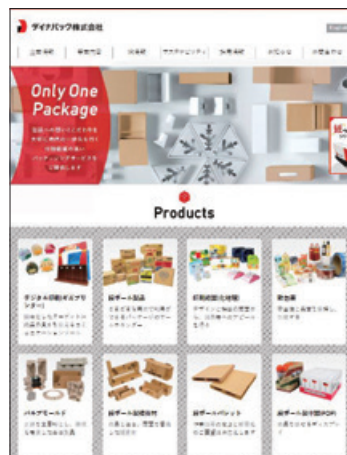
- 会社情報
- IR情報
- 採用情報

などはこちらからご覧ください。

ダイナパック

検 索

<https://www.dynapac-gr.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月下旬
単元株式数	100株
基準日	
定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年12月31日 毎年 6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間9:00~17:00 (土日休日を除く) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店(コンサルティングオフィス・コンサルプ ラザを除く)で行っております。
電子公告・決算情報掲載の ホームページアドレス	https://www.dynapac-gr.co.jp/koukoku.htm

(ご案内)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

TOPIC

「健康経営優良法人2023 (大規模法人部門)」に 認定されました

ダイナパック株式会社は、2023年3月8日に経済産業省および日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に認定されました。



2023
健康経営優良法人
Health and productivity

健康経営の重点施策として「生活習慣病の予防」「重篤疾病の早期発見」「メンタルヘルスの対策」「禁煙の推進」を掲げ、大切な仲間の未来を守り、その個性溢れる能力を最大限に発揮できるよう、健康増進活動および職場環境の整備に向けた取り組みに注力しております。

これを機に、より一層の精進に努め皆様のご期待にお応えしてまいりたいと存じますので、今後とも倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

ダイナパック株式会社

本社：名古屋市中区錦三丁目14番15号
TEL：052-971-2651



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。